

着衣の儘飛込み

危い二人を救助

救ふ積りで溺れたのを

発見した勇敢な少年!

江名町字折戸居住現次郎長男根本久忠(八)と隣家の吉田ヤス(七)の兩名は去月卅日同海岸で磯遊びに夢中になつて居た際久忠君が磯から海中に墜落したのを健氣にもヤスさんは助けやうとして海中に飛び込んだが大

浪をかぶつて兩名共危く溺死しかつた處へ通合せた同字吉田豊次郎君(五)が発見した事が判り平署で救助した事が判り平署では本七日人命救助として表彰方を縣知事に申請した

甲種合格

壯丁氏名

本籍寄留共に

平町本籍壯丁の徴兵検査の成績は昨報の如く甲種十九名以下を數へたが昨六日寄留者四十六名、前年假決者二十名を検査の結果は

- △寄留者甲一二 第一乙五 第二乙八 丙一六
- 丁二△前年假決者甲三 第一乙五 第二乙五 丙七

で是れを既報の本籍者と合計する時は
甲種三十名 第一乙種二十六名 第二乙種四十九名 丙種八十一名 丁種十一名 戊種一名
であるが因に甲種合格者

僕等は海の子 (3)

平第一四倉臨海學校通信

(八月五日 曇)昨夜寝相が悪くて先生に直されたことをうすうす覚えてゐましたから「先生、僕寝相悪くてなほされたねえ、先生」と尋ねてみたら「先生に幾ら直してやらうとしてもムニヤクだったよ、それから先生、貯金積むんですか

今日には仁井田浦の人達に會ひました。懐かしかつたので皆して「やあ〜」とさざざました。僕たちは「白いぞ〜」とはやしました。

平商庭球

更に猛進

正月町木田拓 十五丁目 久保田虎孝
全日本中等學校庭球大會決勝戦に於て覇權を一步前に逸した平商庭球部は大會終

了後も東京金門俱樂部コートで一流指導者のコーチにより猛練習であつたが昨夜歸平し直ちに來る廿三四兩日仙臺で開催の東北學院庭球部主催北日本庭球大會へ出陣すべく母校コートで練習に精進してゐる

映畫を通じ

選挙を正

近く平町其他に

本縣トキー班來る

選挙肅正の徹底を圖り一般の注意を涵起する爲め今回縣で組織したトキー映畫班は近く平、植田、四倉等

平驛無事故表彰

昨日銅牌の授與式

平驛は昨年三月より本年六月迄の十六ヶ月間に亘つて無事故の成績を挙げたので今回東京鐵道局より銅牌を

午後、船遊びしました。傳馬船といふ船に八人位一組になつて乗りました。防波堤の内だけでは面白くないので、外に出て潜水作業を見學しました。築港の工事をしてゐるのだそです。深さは七尋、海底の岩に穴をほり電氣ダイナモトで岩をくづす作業です。潜水夫は四人ゐて、替代してやります。船の上つてゐた二人は髯をつけた黒い顔

授與され昨六日同驛樓上に福井東鐵運轉課長及び中澤水戸運轉事務長等が臨席授與式を行つたが同驛は以前をして笑つてゐました。僕らが作業船を見てゐるうちに水中にゐた二人の潜水夫が現れました。はじめタコ入道のやうにぼつかり出た。うろつと大きな腹を出した。横に浮びます。そして少しも手足を動かさず。それから死んだやうに見えて少し氣味悪くなりました。そのうち綱が引つばられ船に上げられました。青黒い海でゆらゆら〜ハジモ

にも無事故驛として金牌を授與された事があり再度の榮譽に後藤驛長以下大喜びである

無縁佛 既報平町行路病人等の死者で引き取り人のない無縁佛の爲めに青沼町長發起で磐中舊グランド傍らの良善寺舊墓地に供養塔を建設したが明九日午後二時から除幕式を執行すると

平町人事 平町南町 平看護婦會 藤沼醫院 木村醫院 山内醫院 市原醫院

△出前持 十七才 月五
△配達 二十三迄 尋卒
△女中 二十前後 尋卒
△店員 二十迄 尋卒 給料面談
△洋服職人 四十六才 中二修
△商店員 二十二才 尋卒
△運轉助手 二十才 高卒
△通女中 三十九才 尋卒
△職工 二十六才 尋卒

△舊城跡馬上政七氏三男 智子
△田中一沖野仙五郎(八九) さん
△製材見習 十七才 尋卒
△人を求める方
ツクのやうに揺られ乍ら仕事をしてゐる様は、實にいさましいもんだと感じました。そしていつか見た活動寫眞のことを思ひ出しました。誰れかは「僕も入つてみたいなあ」と羨しがりました。

晩はウニ御飯。お腹は空いてゐたし、僕のお茶碗は小さいから六回も御飯をよそひました。

日給三十錢以上
△出前持 十七才 月五
△配達 二十三迄 尋卒
△女中 二十前後 尋卒
△店員 二十迄 尋卒 給料面談
△洋服職人 四十六才 中二修
△商店員 二十二才 尋卒
△運轉助手 二十才 高卒
△通女中 三十九才 尋卒
△職工 二十六才 尋卒

看護婦急派 求めに應じ

平町南町 電話三〇七

藤沼醫院 平町・紺屋町 電話五〇七番

木村醫院 平町六丁目橋際 電話三〇九番

山内醫院 平町・田町 電話六九一番

市原醫院 平町・田町 電話一四番

叶はぬ願ひに 世を悲観して

涙で認めれた三通の遺書

△...思ひ詰めた娘が服毒

平町二丁目二七柳田ヨシ(假名)方同人妹安達郡新殿村生れ渡邊ミサオ(三)は本七日午前三時頃自室で親や姉妹に三通の書置を認めカルモチン自殺を圖り昏睡状態に陥つたのを発見され田町安齋病院に收容手當を受けたが生命危篤である、同人は東京市内で看護婦を勤めて居た際静岡縣濱名郡生

れ洋服職人山本保(九)と將來を約し本年三月兩名は手を取り合つて平町に墮落し來り女は前記姉方に身を寄せ某看護婦會に働き男は市内の某洋服店に住込んで居たが種々の事情から結婚を許されぬ爲め極度に世を果敢なみ遂に覺悟の自殺を圖つたものであると

吉岡所長秘藏の 大黒天尊像鑑定

文部省犬養技手が來平

國寶の指定有望

平刑務支所長吉岡家秘藏の大黒尊靈像は既記の如く平町有志が奉贊會を組織して國寶指定の運動中であつたが昨六日文部省犬養技師が來平仔細に鑑定歸應した同技師の談によると國寶の大黒天靈像は我國に二体だけで九州久留米と滋賀縣觀音寺に奉安されてあるがその後者と酷似して居り至極珍らしい尊像であるから何れ沙汰あるまで重要美術品として大切に保存せられたいとのことであつたといふが若し國寶指定となれば全國

點呼應召の 途中で御難

錦村昭和人絹會社職工高橋吉之助(三)は八日郷里秋田縣笠郷村で簡閱点呼を受けると爲め昨六日朝植田驛より汽車に乗り磐越線を経て郷里に赴く途中車内で切符と十二圓六十銭の旅費を紛失し郡山に下車郡山署人事相談所に旅費貸與方を願出た處快よく六圓を貸與され喜び勇んで出發したと

情の蚊張を贈られ 涙にむせぶ極貧者

山崎キク子夫人の同情 けふ役場が感謝して

平町材木町一小森ツメさんと同町大川辰吉さんはいづれも町役場の救助を受けて居る極貧者で蚊帳を持たず安眠の出來ぬ悲惨な生活を聞いた古銀治町山崎清三氏のキク子夫人は本七日兩名の爲めに蚊帳一張宛を町役場に寄附し來つたので兩

警中同窓

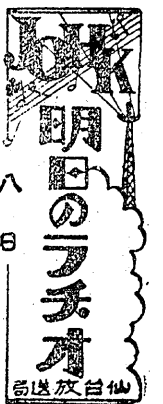
十日に總會

警中同窓會定時總會は來る十日午後一時より母校講堂に開き午後六時より谷口樓で懇親會を催すと

夢中で踊る内に 審査して御褒美

田町青年主催の假裝會 役場前に櫓

田町青年分團は舊盆十五、十六の兩日役場前に櫓を設け踊りの樂園を出現する計劃だが十五日夜は特に踊子の假裝會を催し一等から十等及び佳作廿名に夫々盛澤



今晚も明日北
東の風曇又は雨

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
名作物語「フランダーズの犬」東京放送童話研究會
後六、二五 夏期特別講座
全國神社巡り「樞原神社」
菅島祭
後七、三〇 講演「躍進日
盆踊等がある

お盆に臨時列車 晝夜七本を特發

晝夜七本を特發

平地方の舊盆祭は本月十一日(舊十三日)から十三、四(舊十五、六)兩日は平町を中心にジャンガラと盆踊りに人の波が街頭に渦巻くので平驛では十三日に左記の如く七本の臨時列車を運轉して一般乗客の便益を圖ると

秋刀魚協議 打合會延期

既報昨六日江名町に開催される豫定であつた福島、茨城、千葉、宮城聯合秋刀魚漁業取締打合會は農林省の都合で十一日午後一時から開會に繰下げ變更した

謹告

謹啓炎夏の候益々御多祥の段奉賀候陳者恒例により母校同窓會定時總會及懇親會を開催致すべく候に付御多忙中恐縮に候へ共卒御出席相成度此段紙上御案内申上候
昭和十年八月七日
磐城中學校同窓會長 關内正一

定時總會 八月十日午後一時母校内
懇談會 同午後六時 谷口樓
會費 二圓五十錢

明日の部

前六、三〇 速成フランス語講座 丸山順太郎
七、〇〇 朝の修養「正信念佛偈」大谷瑩潤
前七、四一 六年生のおさらの時間(算術)渡邊義人
前八、四一 婦人夏期講習「スケッチ入門」中村研一
前九、〇〇 家庭講座「夏の洗濯と染色」佐藤吉彦
後八、〇〇 琵琶「小栗栖」山崎旭翠
後九、二〇 都市對抗野球

懸賞付で 酌婦搜索

茨城縣多賀郡大津町字西町料理店花月事村田キク方酌婦長野縣北佐郡中津村生れ高柳ヒナ(三)は去月卅一日情夫の武永勇(三)と共謀して前借四百五十圓を踏み倒し平地方に逃走したが情夫の武永は娼妓酌婦等を専門に誘拐する常習犯人なので抱主は五十圓の懸賞付きて平署に捜査方を願ひ出た

新川町局長更迭

平町新川町郵便局長中野勇吉氏は今回辭職し後任に同町北白銀町志賀定氏と決定した



明治太平記

(上巻及上巻)

(作) 寺島經史

第九十五回

空葛籠(十二)

「ぢや、ウエルズさんおひとりで立ちになつたのですか」
「ウエルズ君も東京へ戻つた」

「まあ、ほんとう?.....」
「.....」

その訊ねやうがあまり熱心なのでパークスの顔はいよゝ、苦りきるばかりだ。
「ね、だんなさま」

おふくの良順はパークスの巨きな肩へ手を廻して、そのけだものゝやうな顔を見込んだ。
「なんです?」

「あたし、ウエルズさんにお目にかゝりたうございませぬの.....」
「.....」

「ね、だんなさま、ほんとうに支那へ赴任なさらないならウエルズさんにお目にかゝれませうね」
「いけません」

「あら.....」
「ウエルズはもはや大英帝國の臣民ではありません」

「まア.....」
「あの男は、英國々民であることを棄権したのぢや」

二度とふたゝびわたしのところへ来ることはありません」
「わかりませぬわ」
「もし、あの男とわたしとが會ふことがあつたら、そのときは決闘するときな

「オホ、ハ、ハ、あたしの、大切だんなさままでございませぬわ」



だ」

「やはり、おとわさんのこととおふたりともこぢれてしまつたんでせう、ぢや、いつそ決闘なさるといふと思ひますわ」
「え!」

パークスは振返つておふくの顔を見た。
「男らしく決闘なさるよ」

「わ」

「決闘とは、一方が血にまみれて殺されることですよ。おふくしやん、もしわたしに殺されても、それでもよいとあなたはいふのかい」
「男の意地ですもの殺されても本望だと思ひますわ」

パークスはいきなりおふくの手を握りしめた。
「あなたに、あたしを愛してゐませんか、あなたは.....」
「おふくしやん」

「オホ、ハ、ハ、あたしの、大切だんなさままでございませぬわ」

「いや、いや」

パークスはしきりにいやいやをした。強い男の弱さをさらけ出して、おふく良順のニッポンムスメの纏綿たる愛情を求めたのだ。
おふくはじつとそれに惨忍な眼をそそいだ。
「さうだ、このけだものふたりに.....」

「さうだ、このけだものふたりに.....」

う.....ウエルズが殺れることは、おとわにとつてのよろこびであらうし、パークスが殺れることは西郷さんにいふことにはがひない。そしてふたりとも死んでしまふことは日本の國の幸福だ。
「ね、だんなさま、男らしく決闘をなさなさいませ。あたしそのときこそ、ほんとうにあなたを死ぬほど愛しますわ」
x x x
七月にとつぜん、廢藩置縣の大詔が喚ばれた。これはまさに大きな嵐だつた。
そしてこのとつせんの發令は明治新政府を呪ふ、巷

の聲の渦巻をいつさう大きく擡げた。
同時に、このあらしの中に新しい世紀を迎へるよろこびに虹のやうな空想に酔ふものもまたすくなかつた

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
酒	場	
茶		
堂		

平・田町
レストサロン
電話三五二番

素晴らしい乗心地の三十五年式流線型新車が参りました

是非御試乗御利用の程を御願申します
平 二

三井タクシー

電話六八五番

薬局開設報告

東京銀座伊東屋特製フランス人形店頭で御目見得致します
何卒御覧下さい
店舗改築中大層皆様に御不自由を相懸けました。が、愈々出来上りました一寸目新らしき薬局となりました。来る八月より諸大醫處方箋調劑の御相手を仕りますれば何卒皆様方の薬局として多少に不拘御利用下さい
平町古鍛冶町(電話四四番)

阿康薬局

体温計の検査日です

10日 検査新 設置 お宅の体温計は?

◎ 確かな体温計を御使用下さい
◎ 毎月十日の検査日を御用下さい
計量器 指定販賣人 西村屋薬局
平・二 電 三番

磐城セメント會社特約店

久全屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九
□ 良品廉賣に勝る商略なし
□ 確實敏捷は の生命なり

外科 専門線

上田外科病院

平町 南町
電話一二九番

吉田眼科病院

平絹屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

新益用佛壇具卜位牌ハ

山光堂佛具店へ

平四丁目 局前
造花博士 花信
電話五五〇番
祖先崇拜ハ家ハ繁榮ノ礎!!!